

# ひのこだより

町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や特色ある取り組みを紹介します。

## 西大路小学校

【教育目標】 学びいっぱい(知) やさしさいっぱい(徳) 元気いっぱい(体)  
～みんなの笑顔がいっぱいあふれる学校～

西大路小学校は、明治6年創立、今年で148年になる伝統ある学校です。児童数83名と少人数ですが、保護者や地域の方々からの温かい支援の中で、自分も仲間も、一人ひとりを大切に「みんなの笑顔がいっぱいあふれる学校」づくりを進めています。

### 地域学習～地域の方とともに～

『西大路小学校』のすばらしさを発見するために、今年度は地域に出かけたり、地域の方に来ていただいたりしながら学習を進めています。3年生は北山茶について学習をしました。茶摘み体験は貴重な経験となりました。5年生は「日野川エコスクール」事業の一環で日野川に行き、水質や生き物、周りの環境について調査を行いました。また、6年生は古地図を見せていただき、西大路の今と昔について学習をしました。



### 地域の方を先生に迎えて

地域の方から協力をいただき、稲作体験や、毛筆指導など、西大路の自然や文化、歴史を生かした貴重な体験活動の機会に恵まれています。地域の方との触れ合いそのものから得るものも大きいです。今年度は、4年生のゴミについての学習や、5年生のお手玉作りにも地域の方に来ていただき学習を深めました。



### 週に1回 縦割り活動

今年度は毎週金曜日を「縦割り活動の日」に設定し、6年生を中心に異学年で活動しています。中休みに設定したことで、どの学年も「だるまさんが転んだ」「バナナおに」などの「縦割り活動」を楽しみにしています。6年生が工夫しながら取り組むことでリーダーとしての力を発揮しています。



### 健やかな体づくり

運動をよくする子としない子の二極化が進んでいるといわれています。本校では、中休みに週3日程度「10分間運動」に取り組んでいます。今年度も「コロナ禍」の中、工夫を凝らして日々体づくりに励んでいます。運動会に向けて、リレー大会にも取り組みました。「跳・走・投」のそれぞれの力がバランスよく身に付くようにこれからも一人ひとりが「めあて」を決めてがんばります。



## 必佐小学校

【教育目標】 知・徳・体 バランスのとれた、たくましい児童の育成  
～力いっぱい やさしさいっぱい めあてしっかり コツコツと～

全校児童 304 名、毎日、必佐見守り隊の皆さんの温かなあいさつに迎えられ、元気いっぱいに学習しています。本校では、「わかった」「できた」を実感できる授業づくり、やさしさあふれる心の教育の充実、健康・体力の向上と根気強く取り組む児童の育成をめざし、日々の教育活動に取り組んでいます。



### しっかりと自分の考えをもち 学び合おう

令和元年度から「わかった」「できた」を実感し学ぶ喜びが広がる授業づくりをテーマに、子ども達の学ぶ力向上の取組を進めています。今年度は、新たに一人一台導入されるタブレットを活用しながら学びを深めていくことに力を入れていきます。



算数科の授業 他者と協働して課題を解決

### やさしい心で自分や友だちを 大事にしよう



児童会縦割り活動 異学年交流で育てる

児童会縦割り活動を通して、異学年の子ども同士が関わり、思いやりの気持ちを育てています。福祉教育や特別支援教育では、アイマスクなどの体験や専門の先生の話から実践的に学べるように工夫しています。

### 健康・体力向上をめざし 粘り強く取り組もう

体力テストで自分の体力を知るとともに保健領域と運動領域を関連付けた運動教室を実施し、運動意欲や健康への意欲向上を図っています。仲良し広場には一輪車や竹馬などでいつでも遊べるように環境整備を行っています。



健康運動指導士による運動教室 保健と運動を関連付けて指導

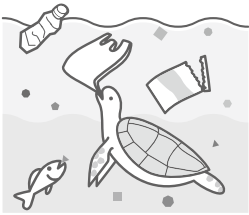
# マイクロプラスチックごみ を減らそう

マイクロプラスチック  
ごみとは

広く使われている定義では、5ミリメートル以下のプラスチックがごみとして自然環境中に流出しているものをいいます。

どのようにして  
流出するのか

例えば、ビニール袋やペットボトルなどが捨てられて川や海へ流出し、紫外線による劣化や波の作用により破碎され、マイクロプラスチックごみとなりま  
す。また、空  
気中にも目に見えない大き  
さで浮遊して  
いると言われ  
ています。



マイクロプラスチック  
ごみが与える悪影響とは

鳥や魚などがマイクロプラスチックごみを誤飲し、成長を妨げ死んでしまったり、マイクロプラスチックごみを食べた魚を、人が食べて取り込んでしまつて可能性もあります。今のところ人体への影響は正確に分かっておらず、研究が進められています。マイクロプラスチックごみは非常に細かく、回収するのが困難です。自然界で分解されるには、途方もない時間がかかります。出掛けるときはマイバックやマイボトルを使用し、使い捨て容器などの使用を減らしましょう。

◆問い合わせ先

日野町エコライフ推進協議会事務局  
住民課 生活環境交通担当

☎0748-52-6578

## ウォータースタンド株式会社と「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結

8月24日(火)、ウォータースタンド株式会社(本多均代表取締役)と町が「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結しました。

この協定は、マイボトル活用の推進によりペットボトルなどの使い捨てプラスチック製品の使用を抑制するとともに、町民・事業者との連携による取り組みを広げていくことでプラスチックごみを削減し、問題の解決に寄与することを目的として、連携協力を行うためのものです。

今後は、マイボトルに飲料水が無料で補給できるウォータースタンドを日野駅や日野観光協会に設置する予定です。ぜひご利用ください。



◆問い合わせ先 住民課 生活環境交通担当 ☎0748-52-6578

## やさしい日本語

外国人の方も  
安心・安全に暮らすために

Point



### 「やさしい日本語」を使うためのポイント

- ◆文は文節で余白をあけて区切り、分けて書く  
例) 滋賀県で大きい地震がありました  
⇒ 滋賀県で 大きい 地震が ありました
- ◆災害時によく使われることばなど、知っていたほうが良いことばはそのまま使い、ことばの後に < > を使い言いかえる  
例) 「消防車」  
⇒ 消防車 <火を 消す 車>  
「避難所」  
⇒ 避難所 <みんなが 逃げる ところ>

◆問い合わせ先 企画振興課 秘書広報担当  
☎0748-52-6550